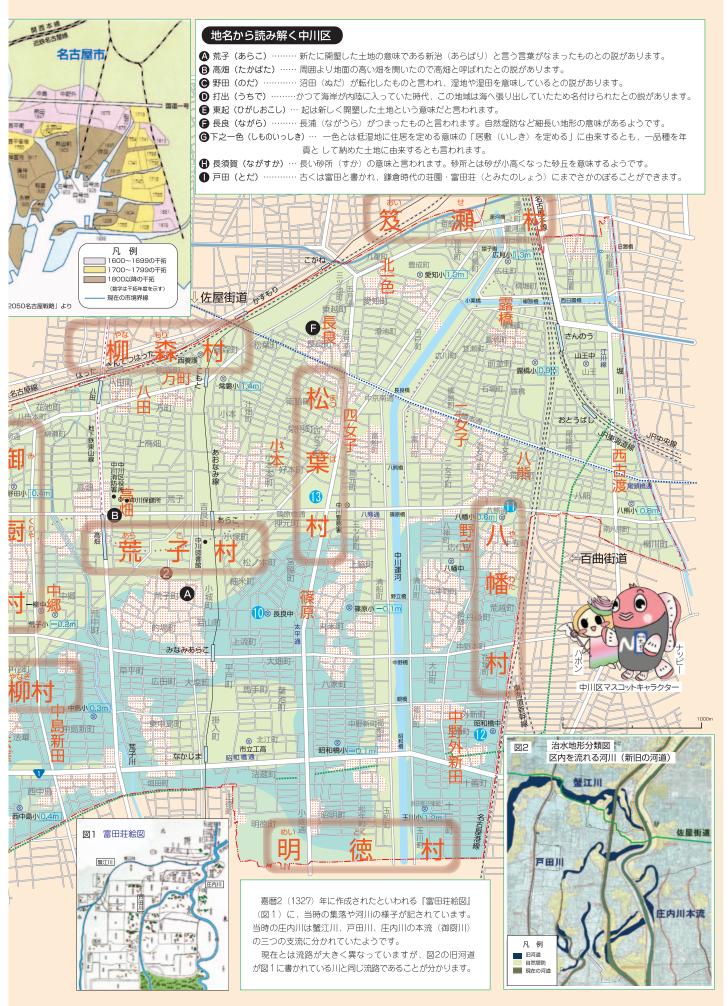


Nakagawa Ward 🕸



2

中川区歴史に学ぶ

(地名表記は、原則として災害当時の地名です

◎ 濃尾地震と中川区

●被害を受けた海東郡万須田村の万場大橋



5,201 1,089 44 73.5 下之一色村 一柳村 1,713 372 40 1 1,440 313 4 9.0 御厨村 13.7 松葉村 2 423 526 5 255 荒子村 不明 Δ 45.5 岩塚村 1,254 256 3 32.4 柳森村 1,388 252 3 笈瀬村 3,017 634 8 13.3

濃尾地震における中川区・中村区の主な村の被害 「明治24年(1891年)10月28日濃尾地震の震害と震度分布』より ※数値には複数説があります。

戸 数

死 者

全壊率

人口

村 名

濃尾地震は、1891(明治24)年10月28日午前6時38分に岐阜県本巣郡根尾村を震 源として発生した国内最大級の内陸地震です。2府12県の広範囲で、死者7,880人、全 壊建物164,611棟、半壊建物123,158棟という甚大な被害が出ました。愛知県では 2,638人が亡くなりましたが、うち名古屋市では187人(人口約16万5千人)、愛知郡 では152人(人口約12万3千人)、海東郡では289人(人口約8万4千人)となってい ます。区内は震度7の揺れに見舞われたと推定され、下之一色村では液状化現象も見ら れました。

庄内川では堤防の多くに被害が出ました。写真では万場大橋が大きく歪んでおり、 揺れの大きを物語っています。



◎ 伊勢湾台風と中川区

4正徳橋



⑤木が散乱する豊治小学校



正徳橋は庄内川にかかる人道橋です。伊勢湾台風により寸断されてしまいました(写 真左)。新川西側堤防が決壊したため、豊治小学校には大量の水が流入しました。校舎 の屋根が吹き飛び、教室内も泥の海と化しました。休校は11月12日まで続きました(写 真右)。

⑥近鉄線 伏屋駅·戸田駅間



7水没した戸田駅



8 富田中学校



9戸田小学校周辺の民家



富田地区は浸水の被害が大きく、移動には舟も用いられました。

● 長良中学校



● 水のたまる八熊通



過去の風水害を教訓に、 雨水調整池の整備などの 浸水対策を進めているよ!

1959 (昭和34) 年9月26日、夕方に紀伊半島に上陸した極めて大型で強力 な台風15号は、名古屋地方に最悪のコースをたどり、名古屋港の潮位は観測 史上最高の5.31mを記録しました。河川の増水と高潮が重なり、多数の堤防 が決壊し、南区・港区を中心に本市南部に甚大な被害をもたらしました。中 川区と名古屋市の被害は次のとおりです。

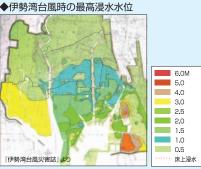
- 死者·行方不明者 20名(本市 1,909名)
- 負傷者 4,903名 (本市 40,528名)
- 全半壊流出家屋 2.395戸 (本市 50.972戸)
- 浸水家屋 17,824戸 (本市 67,352戸)

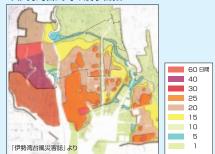
幸いにも庄内川の堤防は守られたため、中川区 では南区・港区ほどの被害は防ぐことができまし た。しかし、新川西側の堤防が決壊したため、当 時の豊治学区・戸田学区・千音寺学区では大きな 被害が出ました。最大で床上浸水150cm、浸水 期間は46日に達しました。また、中川運河沿い では、高潮の影響で、浸水が最長で25日間続き

ました。

残念なことに区内では20名が亡くなりました。しかし、南区・港区と比べ ると被害が抑えられたのは、海岸から離れており浸水水位が比較的低く、ま た避難時間に多少余裕があったためと考えられます。

◆伊勢湾台風時の浸水日数







区

Nakagawa Ward 🐃

解説編の見方・要点

年表は、中川区関連の災害や河川についてのできごとです。 南海トラフ地震か

◎ 三河地震と中川区

2 荒子観音寺



三河地震は、1945(昭 和20) 年1月13日午前3時 38分に三河湾を震源とし て発生した内陸地震です。 区内では荒子観音寺の本 堂が倒壊しました。写真 はその後再建中の仮本堂 です。

③伊勢湾台風後の富田町伏屋橋付近



12 昭和橋中学校



校舎には大きな被害はありませんでし たが、浸水は床下ぎりぎりに及びました。 児童の95%が被災したため、他の学校 同様に児童の精神面でのケアも大きな課 題となりました。

🔞 松葉公園の被害





◎ 東海豪雨と中川区

● 一色大橋

2000 (平成12) 年9月11日、 東海地方は秋雨前線による猛烈な 集中豪雨に襲われ、名古屋市では 1日で、9月の平均月間雨量の2倍 にあたる428mmの雨が降りました。 このため庄内川・新川・天白川・ 境川・矢作川で浸水被害が発生し ました。

区内を流れる新川は上流の西区 で左岸堤防が決壊し大規模被害が



『忘れない、東海豪雨』より

発生しました。庁内川は区内の一色大橋の下流右岸で越水しましたが、懸命な防水 活動で拡大は食い止められました。区内では床上浸水275世帯、床下浸水2,766世 帯の被害が出ました。

中川区 災害と河川の関連年表 *江戸時代以前の月の表記は西暦を基準にしています.

年 代	主なできごと
1586(天正13)年	1月18日 天正地震.飛騨もしくは尾張を震源とする巨大内陸地震・名古屋の震度は6~7と推定.
1707(宝永4)年	10月28日 宝永地震. 名古屋の震度は5~6と推定. 名古屋城の建物が大きく損傷
1768(明和5)年	庄内川の付け替えにより、前田村から下之一色村付近の河道が変更
1787(天明7)年	新川の開削工事が完成. 100年、150年 100年 100年、150年 100年 100年、150年 100年 100年 100年 100年 100年 100年 100年
1854(嘉永7)年	12月23日 安政東海地震. 名古屋の震度は5~6と推定. 熱田に津波が来襲. 世界が発生して
	翌24日、安政南海地震、名古屋の震度は5と推定、 いるんだね。
1891(明治24)年	10月28日 濃尾地震.内陸地震としては国内最大級.震源は岐阜県根尾村.名古屋市の震度は7 ,
	と推定.下之一色村で家屋被害率が 70% を超えるなど大きな被害が発生. \Leftrightarrow 写真 $oldsymbol{1}$
1930(昭和5)年	中川運河完成(全通は1932年). 区内では津波遵難ビルの
1937(昭和12)年	10月1日 中川区誕生. (面積21.15km人口73,000人) 指定を進めているより
1944(昭和19)年	12月7日 東南海地震、震源は紀伊半島沖、愛知県では死者438名、中川区でも死傷者や家屋倒
	壊など大きな被害. 中川区では下之一色地区を中心に液状化現象が発生.
1945(昭和20)年	1月13日 三河地震. 震源は三河湾. 愛知県の死者2306名. 名古屋市の震度は4~5と推定. 中
	川区では荒子観音寺の本堂が倒壊.37日前の東南海地震に誘発された地震と推定.⇨写真 2
1955(昭和30)年	10月1日 富田町を中川区に編入.(面積32.01k㎡人口111,722人)
1959(昭和34)年	9月26日 伊勢湾台風. 台風として明治以降最大の犠牲者が発生. 中川区では約11万人が被災
	し、死者20名. ⇒写真 3 ~13
2000(平成12)年	9月11日 東海豪雨. 名古屋市の37%が浸水. 最大日降雨量428mmを記録し、約350年に1度の
	大雨となる. ⇒写真 🕜

」は南海トラフで発生した大地震です.

東南海地震(1944年)と伊勢湾台風(1959年)の体験談

荒子の寺西克己さん

東南海地震の時は小学1年生でした。荒子観音寺から200mの大門の南端にあった火の見櫓の脇で友達と紙芝居 を見ていると、大きな地震が来ました(発生時刻は午後1時36分)。紙芝居屋さんが道のそばの生垣に誘導して くれましたが、揺れで思うように歩けません。かたわらに立っていた石の常夜灯は倒壊、足元に転げ落ちて非常 に危険でした。家では壁が崩れ土ぼこりが立ちこめていました。その夜は余震を心配した祖父母に「納屋で寝な さい。納屋はトタン屋根だから大丈夫」と言われました。1891 (明治24) 年の濃尾地震体験を思い出したのかも しれません。

伊勢湾台風の時は大学生で、風雨が強く室内に水が入って来ました。幸い昔からの集落にある自宅は浸水を免れ ましたが、後に開発された周辺地域は浸水していました。自転車はペダルまで水に浸かってしまうとこぐのが非 常に大変で、乗るのを諦めなければなりませんでした。

戸田の横井米子さん

9月26日の台風の夜、表に出ると下駄が水に浸かってしまい、これは大変だと、小学生の子ども達を起こして2 階に避難させました。私の家は床上30cmぐらいの浸水ですみましたが、家の前の通りは川のようになり、なかな か水が引かず、しばらく小舟で通行しなければなりませんでした。戸田小学校が浸水したため、子ども達はしば らく市内の別の小学校に泊まり込みで集団避難していました。今でも家の壁には浸水の跡がはっきりと残ってい

☆各機関の災害資料や地図などを気軽に活用しましょう!

- ・名古屋市中川図書館 中川区吉良町178番地の3 ☎052-353-5311
- · 名古屋市富田図書館 中川区服部三丁目601番地 8052-432-5313
- · 名古屋市鶴舞中央図書館 昭和区鶴舞一丁目1番155号 2052-741-9822 (2階)
- ・名古屋市南図書館(伊勢湾台風資料室)南区千竃通2丁目10番地の2 ☎052-821-1732
- ·名古屋都市センターまちづくりライブラリー 中区金山町一丁目一番一号 **2**052-678-2212
- · 名古屋市港防災センター 港区港明一丁目12-20 ☎052-651-1100
- ・愛知県図書館 中区三の丸一丁目9-3 ☎052-212-3200 (調査相談)
- · 愛知県公文書館 中区三の丸二丁目3-2愛知県自治センタ-7·8階 ☎052-954-6025

☆主な参考資料

『明応地震·天正地震·宝永地震·安政地震の震害と震度分布』(愛知県防災会議)、『今も生きる、濃尾地震』(社団法人中部建 設協会)、「明治24年(1891)年10月28日 濃尾地震の震害と震度分布」(愛知県防災会議地震部会)、「濃尾地震文献目録』 (愛知県防災会議)、『昭和19年12月7日東南海地震の震害と震度分布』(愛知県防災会議)、『昭和20年1月13日三河地震の震 害と震度分布』(愛知県防災会議)、『戦争に隠された「震度7」』(吉川弘文館)、『伊勢湾台風災害誌』(名古屋市)、『伊勢湾台 風災害誌 名古屋市小中学校(中川区)](名古屋市)、『生物多様性2050なごや戦略』(名古屋市)、『庄内川流域史』(建設省 中部地方建設局庄内川工事事務所)、『忘れない、東海豪雨』(社団法人中部建設協会)、『日本歴史災害事典』(吉川弘文館)、 『新修名古屋市史第8巻(自然編)』(名古屋市)、『新修名古屋市史 資料編自然』(名古屋市)、『中川区史』(中川区政施行50 周年記念事業実行委員会)、『なごやの町名』(名古屋市計画局)、『名古屋の地名』(中日新聞本社)、『日本歴史地名大系 第23 巻(愛知県の地名)』(平凡社) *マップ中の説明のない写真は名古屋市が所蔵しています。

問合せ先 名古屋市中川区役所総務課

◎中川区役所 名古屋市中川区高畑一丁目223番地 電話052-363-430 ○中川図書館 名古屋市中川区吉良町178番地の3 電話052-353-5311 名古屋市中川区役所総務課·名古屋市中川図書館/編

平成29年3月発行

この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

2/